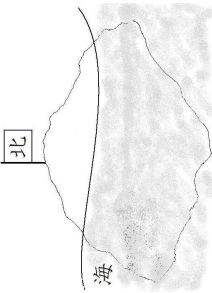
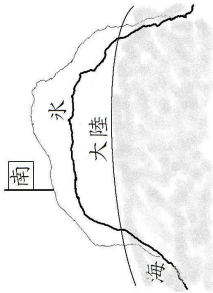


※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「初めて知ったことを、資料を使って伝えよう」という学習に取り組んでいる小学五年生の田中さんは、次のスピーチ原稿を作りました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチ原稿】

1	<p>みなさんは、北極と南極のどちらが寒いと思いますか。</p> <p>まず、この図（図1）を見てください。</p> <p>北極とよばれる地域は、ほとんどが海にうかんでいる氷の上にあります。</p>	
2	<p>次に、この図（図2）を見てください。</p> <p>南極は、このように平均二千四百五十メートルの厚い氷におおわれた大陸になっています。</p> <p>北極の氷の下にある海の水はこおっていないので、温度は0度より少し低いくらいです。だから、氷の上でもひどい寒さにはなりません。</p>	<p>図1</p> 
3	<p>大陸の上に氷がいくえにもかぶさっている南極は、まるで高い山です。高い山は平地よりも気温が低く、しかも、海からはなれて内陸へ行くほど寒くなります。</p> <p>つまり、氷におおわれた大陸である南極は、海上にうかんだ氷の北極より寒いということになります。一年間の平均気温を比較すると、南極は北極よりも二十度ほど低いそうです。</p>	<p>図2</p> 

一 田中さんは、小学四年生に対してスピーチをすることになり、グループ内で読む練習をしました。そのとき、林さんから次の助言を受けました。



「聞いていて、四年生にはむずかしい言葉がいくつかありました。話す相手のことを考えて、むずかしい言葉はなるべく使わないようにしましょう。」

林さんの助言の——線部「四年生にはむずかしい言葉」が、最も多く使われているのはどこでしょうか。【スピーチ原稿】の1から3の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

二 次のアからエまでのスピーチの工夫のうち、【スピーチ原稿】で田中さんが取り入れていないものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 資料を見せながら話す。

イ 聞き手を引きつけるために問いかける。

ウ 具体的な数字を入れる。

エ 結論を先に述べ、あとから理由を言う。

【スピーチ】

三 次は、林さんが「お札」について調べた結果を記録したノートと、スピーチのために準備した資料（カード）です。これらを読んで、下の問いに答えましょう。

【ノート】

日本のお札には、六けたの数字と二つのアルファベットを組み合わせたものがある。このうち、アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえることがあるので、使わないことになっている。

【カード】

(お札についている番号と記号の例)

A 1 2 3 4 5 6 B



(問い)

林さんは、小学六年生に対してスピーチをすることになり、上の【カード】を使い、【ノート】の内容について話します。

あなたなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて、スピーチの原稿を書きましょう。

(条件)

- 「カード」、「アルファベット」の二つの言葉を両方使い、【ノート】の内容をもとにして書くこと。
- 二つ以上の文で、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

一 3

二 エ

三 (例1)

みなさん、このカードを見てください。二つのアルファベットと六けたの数字が書かれています。これは、お札についているものです。数字とまちがえやすい「I」と「O」のアルファベットは、使わないのだそうです。(100字)

(例2)

みなさんは、お札に使われている数字やアルファベットを知っていますか。それは、このカードのようになっています。アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえるといけないので、使われません。(95字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

校内新聞の学級しようかいを担当することになった大川さん、中川さん、小川さんは、学級で飼育しているメダカの記事を書くことにしました。次の文章は、三人が書いた記事の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

○ 五年一組では、二つの水そうでメダカを飼っています。水そうは、教室内の南側にあるたなの上と、教室前のろう下に置いています。 (大川)

○ メダカは、オスとメスの見分けがつきにくい生き物です。背ビシに注目すると、オスかメスかが分かります。背ビシがギザギザになっているのがオスで、そうになっていないのがメスです。 (中川)

○ 昔は、どこの川や池にもいたメダカですが、環境の変化や外来種の増加によってメダカの数は激減しました。そして、一九九八年、環境庁(現、環境省)はメダカを絶滅危惧種に指定しました。 (小川)

一 石田さんは、三人の下書きを読んで次のようなコメントを書きました。文中の(A)、(B)に当てはまる言葉を書きましょう。

大川さんは「水そうのある場所」、中川さんは「オスとメスの(A)」、小川さんは「メダカの数が減っていること」と、それぞれがちがう観点で書いているところがよいと思います。気になる点は、(B)さんの文章にむずかしい言葉がいくつか使われている点です。校内新聞は低学年や中学年も読むので、むずかしい言葉をやさしい言葉に直したり、説明をつけ加えたりするとよいと思います。

二 石田さんのコメントのよいところとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

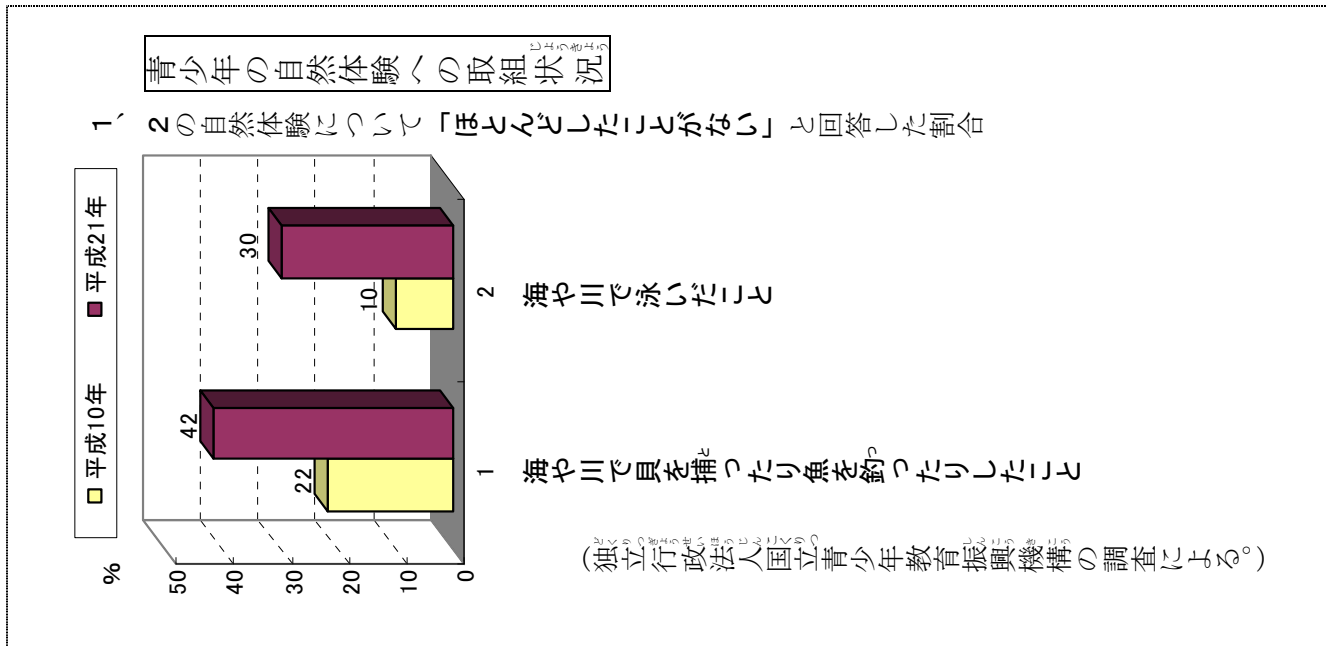
- ア 三人全員を取り上げるのではなく、一人だけに注目しているところ
- イ それぞれの人に対して、よい点と見直してもらいたい点を述べているところ
- ウ 自分の知っていることを数多く示し、記事の内容を深めているところ
- エ 気になる点を述べるだけでなく、アドバイスもしているところ

【二ページ】

三 石田さんは、これまで自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがありませんでした。そこで、同じクラスの15人から聞き取り調査を行ったところ、

- 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがある 2人
 - 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがない 13人
- という結果になりました。

また、石田さんは、ホームページで次のグラフを見つけました。



二つの調査結果から、石田さんは、次の意見を持ちました。

【石田さんの意見】

わたしたちの地域には、池や川がたくさんある。ところが、クラスの友だちの中で、自然のメダカを見たことがある人はわずかしかない。また、グラフを見ると、海や川で遊んだ経験がない青少年が、十年ほどで大はばに増えていることが分かる。

このことから、日本の自然環境は年々悪くなっている、そのために、人々が自然からはなれているのではないかと考える。

【石田さんの意見】を読んで、あなたが考えたり、思ったりしたことを、三つ以上の文で、八十字以上、百字以内にまとめて書きましょう。

一 A 見分け方 B 小川

二 E

三 (例 1)

ぼくは、この意見に賛成できません。なぜなら、若者の自然体験が減ってきたのは、自然環境の問題よりも、パソコンやゲームなどの影響が大きいのと思うからです。実際、ぼくたちは、外より家の中でよく遊んでいます。(100字)

(例 2)

ぼくは、この意見に賛成です。なぜなら、ぼくたちの住む地域の川や池は、とても汚れており、生き物の姿もほとんどなく、そこで遊ぶ気持ちになれないからです。まず、自然を元にもどすことが必要だと思います。(99字)

(例 3)

わたしの住んでいる地域も池や川はたくさんあります。でも、危険だからといって遊ばせてはくれません。子どもの自然体験が少ないのは、危ないことをさせようとしていない大人たちに責任があるのではないのでしょうか。(99字)